

Future book

第11期総会資料
2014→2015





スローガン

個性が響きあう社会へ ~Harmony of Uniqueness~

MISSION&VISION-ミッション&ビジョン-

ミッション…使命・手段

表現活動によって、
自分らしく・たくましい個人を増やす

ビジョン…目指す社会・構想

多様な価値観を認め合える社会

どのように社会を変えていくのか

日本社会は今、「課題先進国ニッポン」と呼ばれるほど、数多くの社会問題が表面化しています。「日本の若者は諸外国と比べて、自己を肯定的に捉えている者の割合が低く、自分に誇りを持っている者の割合も低い。自分の将来に明るい希望を持っていない」と内閣府の「子供・若者白書」(2014年版)に掲載されるなど、日本の未来を背負っていく若者が「生きている実感を感じづらい社会」が目の前にあります。

私たちは、このような閉塞的な世の中を生きていくには、ひとりひとりの個性が活ける社会が必要だと考えています。そのため、私たちは歌や踊りなどの「表現活動」を通して自分らしく・たくましく個性を発揮し、多様な価値観を認め合える人材を輩出していく。そのような人材が社会に溢れることで、社会が変わっていくと私たちは信じています。

※「子ども・若者白書」の調査対象者は、7ヶ国、満13歳から満29歳までの男女約1000人。

CONTENTS

P04-P05 コモンビートの2014年度。 第1号議案

P06-P07 みんなでつくった1年間 第1号議案

P08-P09 数字で成果を見てみよう 第1号議案

P10-P11 コモンビートの2015年度。 第2号議案

P12-P13 2015年を100倍楽しむ方法 第2号議案

P14-P15 プロジェクト・事務局運営計画10トピックス 第2号議案

P16-P17 2014年度決算報告／2015年度予算計画 第1号議案

P18-P19 新役員プロフィール／みなさんへのお願い 第3・4号議案



コモンビートの 2014年度。

Up with Peopleとの契約を更新し、活動の幅がひろがる。

昨年3月にUp with People からEric Lentz さんと Paul Whitaker さんが来日し、福岡で行われた九州公演を鑑賞。アメリカで生まれたミュージカル「A COMMON BEAT」が日本で10年上演されていることに感動してくださいました。そして、今までのミュージカルプログラムのライセンス契約を、学校、地方都市そしてアジア諸国での実施に対応できる内容に更新することができました。これによりコモンビートのミュージカルプログラムをより多くの方々に向けて展開する準備が整いました。

「やりたい気持ちを大切に」公募でコアスタッフを募集

ミュージカルプロジェクトでは、コアスタッフ制度を採用し、プロデューサー・演出・キャステンからなるチーム制でプログラム運営にチャレンジしました。コアスタッフを公募したことや、幅広い方々から応募をいただくことができました。コンビートへの関わりが1年目でも10年目でも「やりたい気持ち」でプログラム運営に関わることができます。

海外でのミュージカルプログラム、はじめの一歩は韓国で。

アジア諸国でのミュージカルプログラム展開はコモンビートのひとつの夢であります。ミュージカル「A COMMON BEAT」で描かれていることを絵空事で終わらせないためにも、海外で私たちがコモンビートを刻んでいけるかどうかは大切なことです。昨年11月の関西公演には韓国からNPO関係者などが来日しました。公演を鑑賞してこのプログラムを『韓国でもやりたい!』と意気込んでくださっています。

都立高校でプログラムを実施、小学校訪問数も増加。

東京都教育庁が実施する「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」としてコモンビートが授業を提供しました。これから人生を選択していく高校生に向けても「自分らしく・たくましく」心豊かに自分を表現してほしい!というメッセージを届けることができました。また、小学校に向けての学校訪問授業も全国各地で増えてきており、今後教育機関との連携も増えていきそうです。

2014年度を振り返って



理事長
安達亮

皆さんのご支援やご参加をいただき、2014年も「個性が響きあう社会」へ向けて活動を推し進めることができました。11年間でNPO業界でも知名度があがり、他団体から、私たちの運営ノウハウや活動文化を「参考にしたい」という声も聞こえています。それに甘んじることなく、今まで通り、日々の活動に参加される方々と「リアル・アナログ・泥臭さ」で接していく姿勢を大切にしたいと考えています。

また、NPO法人は社会をより良くするための組織体ですので、社会に対してもどのような「成果」をあげているのか、しつかり求めていきたいと考えています。その一環として、ミユージカルプログラムを卒業したメンバーが、次のステップに進む支援・応援ができるような事業の立ち上げも構想しています。

2015年の活動は国内だけにとどまらず国外にも広がっていきます。変化を恐れず、ポジティブに活動を推し進めていきます。今後もぜひご支援いただければ幸いです。



副理事長
安藤 悠一

11年目となつた2014年も東京・中部・関西・九州・東北の5地域+洋上でミュージカルプログラムを実施しました。昨年はコアスタッフ(プロデューサー・演出・キャバティン)を各期の運営の軸に据え、各地域のスタッフ主導でプログラム運営をする体制を構築。スタッフ未経験でものプロデューサーに抜擢するなど、より多くの方がコモンビートでのプログラム運営経験を通して成長できる環境を整えました。新しいメンバーと一緒にプログラムをつくることで、自由に任せられる部分と今までの経験を元にこだわって伝えていくポイントのバランスが徐々に見えてきました。「任せる」「関わりを薄くすることではあります。世の中にバーチャルなコミュニケーションツールが溢れている今だからこそ、本気でぶつかり合い、汗水流しながら作品創りにチャレンジする!任せる部分が多くなつても、その信念は変わりません。2015年も全地域での大成功を目指し、仲間と共に泥臭く前に進んでいきます!!



理事／発起人
龍 朱仙

「コモンビートを立ち上げた一人である私は、コモンビートがときに自分のごとく愛おしく、自分のごとくもどかしい。今の団体の姿に納得がいったり、疑問を感じたりの繰り返しで今日まできました。最近はその葛藤が、「団体が生きているからこそ」など、いい意味で開き直っています。

2014年は、私たちの活動が、日本をこえて認められた年となりました。「A Common Beat」の生みの親であなUp with Peopleの幹部たちがアメリカからはねて来る田中公演を見てくれました。とても感動し、原作より演出が良いと褒めてくださいました。私たちは、今までの契約を無事更新し、もつと自由にこのプログラムを開拓していくことになりました。そこで地方都市と共に催型で行うプログラムを立ち上げ、初の福井ミュージカルを実現させました。

今年は日韓共催ミュージカルに挑みます。海外の人たちにこのプログラムが認められたことに感謝して、11年間の土台に感謝して、楽しくたくましく進んでいきます。」

次の10年への第一歩 社会への成果を求めて

「やりたい気持ち」と
「経験」のバランス。

作り上げた11年間という「土台」に
誇りをもてた1年

数字で成果をみてみよう

NPOには「課題解決型」と「価値創出型」があるとされています。コモンビートは後者にあたり、活動に参加した方々に様々な「価値」を提供しています。この「価値」は人によって異なり、「成果」として計りづらいものです。ですが、NPO法人として社会にどのような「成果」を生み出しているのかを可視化することは、コモンビートの存在意義を考えるにおいて大切な観点だと考えています。そのため、このたび活動を数字で表すということにチャレンジしてみました。



ミュージカルプロジェクト

全国5地域のミュージカル公演で、
個性豊かな**616**名のキャストが、
来場された観客**19,009**人に、
コモンビートのメッセージを届けました

2014年度も全国で大学生・社会人からなるキャストがプログラムに参加し、ミュージカル「A COMMON BEAT」を上演、多様な価値観を認め合う社会を目指すというメッセージを届けました。キャスト・ウェルカムキャスト（会場運営スタッフ）、ブラックスピリット（舞台スタッフ）、技術スタッフが一丸となり、大きな成果を生み出しています。

キャスト内訳：100人100日プログラム(東名阪九)417名、東北プログラム95名、
洋上プログラム104名



学校訪問活動

11校の生徒**1,355**名に
25回の授業を通して
歌や踊りで楽しく表現する機会を届けました

小学校8校、高校3校に対して訪問授業を実施。昨年度実績を上回り、増加傾向にあります。複数回にわたるプログラムを依頼されることもあり、活動にも広がりが見え始めました。



UWP国際教育プログラム参加支援制度

支援制度を利用して
4名の支援キャストがアメリカに渡り
国際的なリーダーシップを学びました

一般財団法人MRAハウスからご支援をいただき、2014castAで新井三保子(さんぽこ)、2014castBで今井藍(あい)、月井涼太郎(つっくー)、星野桃子(もも)が制度を利用してアメリカのプログラムに参加しました。

※2014castBは特例で支援金を分割し、3名への支援となりました。



アジアンビートプロジェクト

コモンビート**20**名、埼玉大学生**18**名
チュラロンコン大学生**13**名(タイ)に
言葉をこえた異文化交流の機会を提供しました

一般財団法人MRAハウス並びに国際交流基金からご支援をいただき、埼玉大学とチュラロンコン大学の学生とコモンビートキャストが参加してツアーアを実施しました。国籍の違う参加者との交流で多様な価値観を認め合う力を養いました。



ソーシャルビート(ボランティアマネジメント講座)

講座を**4**回開催し、NPO関係者**44**名に
コモンビートの理念や
運営ノウハウを伝えました

NPO関係者向けのミュージカル公演鑑賞、運営見学付のボランティアマネジメント講座「ソーシャルビート」が好評でした。また、代表安達が数多く外部イベントでNPO運営について、講師としてお話をさせていただく機会が増えてきています。



もざいくプロジェクト

キャスト**32**名に
地域の方々との交流と作品づくりを通して
自分らしい人生を歩むための
「きっかけ」を提供しました

5年目を迎えたプロジェクト。長野県の阿智村と大鹿村でプログラムを実施。小規模にはなっておりますが、村との濃い交流は健在。村の方々の生き方に触れ、Uターンを決めるキャストが生まれたほか、それぞれの人生にとって大きな糧を生み出しました。

キャスト内訳：阿智村11名、大鹿村21名

※もざいくプロジェクトは2015年度よりコモンビートから独立して事業展開することになりました。



イベント・ワークショップ

全国**5**地域で
1年間に**59**件の企画が実施されました

地域スタッフが主体となり全国各地でイベントやワークショップが行われました。小規模企画ですが、会員同士の交流の場や学びの場として多くの方々にご参加いただきました。

内訳：東京2件、中部3件、関西11件、九州7件、東北7件、事務局29件

コモンビートの 2015年度。

コモンビートは2015年度も引き続きビジョン・ミッション実現のため、全国各地でイベント・プロジェクトを実施していきます。また、昨年掲げた「2013年までに1万人のコモンビートキャストが存在する」というひとつのゴールを目指していきます。コモンビートキャストを増やしていくために、私たちは「表現活動」によって自分の個性を発揮する機会と、より異なる価値観と出会う機会を提供していきたいと考えています。

そのために、今まで国内事業(総称:ローカルプロジェクト)にとどまっていた活動に加えて、今年からは海外でのプログラム実施を中心とした国外事業(グローバルプロジェクト)を展開していきます。

また、コモンビートが輩出する人材が「次の一步」を歩む際に、団体としてもその活動を応援・支援できるよう「Next101プロジェクト(仮称)」の立ち上げを計画中です。

2015年もみなさまと一緒に活動を進めていければと思っておりますので、ご支援よろしくお願いいたします!

共催型で一緒にビジョン・ミッションを目指す

11年間ミュージカルプロジェクトは直営型で運営してきました。このまま地域数を直営で増やしていくには限界があります。そのため、地方都市のNPO等の地域団体と一緒にプログラムを実施する共催型でのプログラム展開をスタート。ビジョン・ミッションへの共感を得ながら、その地域のキャストがその地域を元気に沸かしていくためにコモンビートがプログラム提供をしていきます。福井県での実施を皮切りに今後も他都市での実施にチャレンジします。

アジア展開の一歩目は韓国で。市民文化活動としてのミュージカル

国内事業での共催型と同様に、国外事業も共催型でアジアへ展開していきます。その第一歩目が韓国となります。韓国では昨年11月の関西公演訪日メンバーによって「ミュージカル「A COMMON BEAT」を韓国で公演する会(略称:ACB-Korea)」が発足し、コモンビートとの共催による日韓合同ミュージカルプロジェクトが動き始めました。国と国との問題解決のためではなく、あくまでも市民文化活動とし、日韓キャスト同士がミュージカルづくりを通して交流することを目的とします。5月~9月でプログラム実施、9月にソウル公演、10月に福岡公演の予定です。

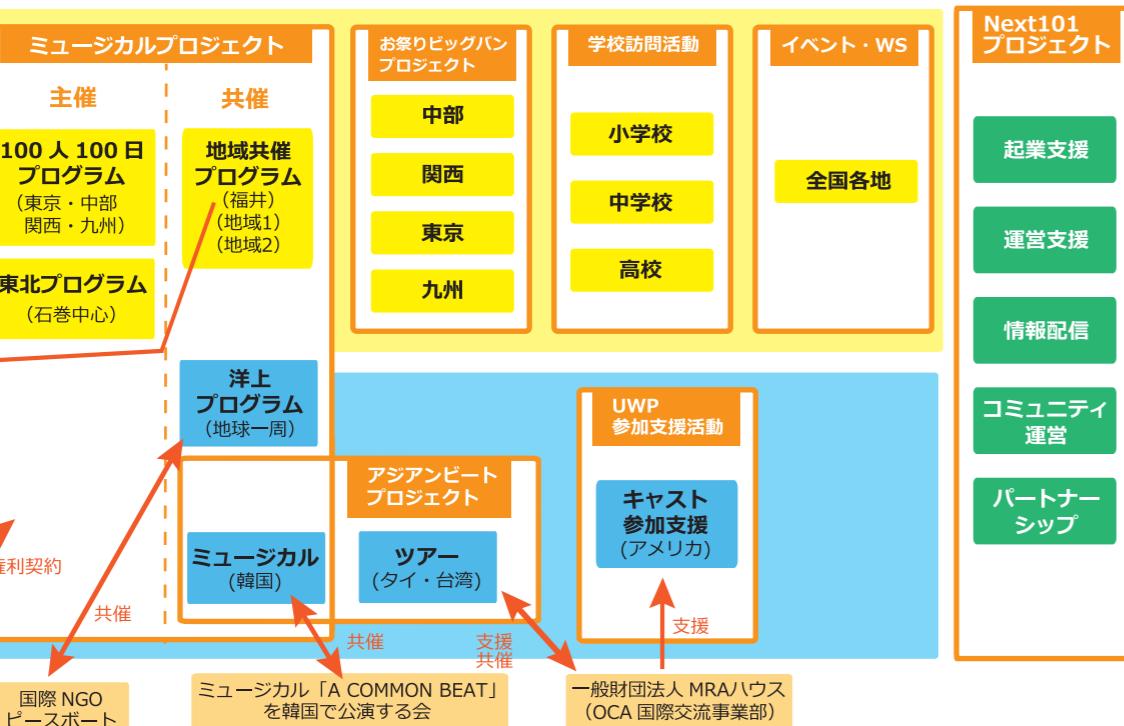
国内事業 ローカル プロジェクト

国外事業 グローバル プロジェクト

Up with People
(アメリカ)

国際 NGO
ピースボート

福井Love&Peace
プロジェクト



「個性が響きあう社会へ」

学校訪問活動を本格化。「表現活動」の機会を小中高生にも提供

昨年実施した都立田柄高校でのミュージカルプログラムは好評で、平成27年度の「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の紹介冊子にも掲載され、全都立高校に配布されています。今年度も都立田柄高校からの依頼を受けています。小学校からの学校訪問依頼も増加傾向にあり、子どもたちが個性豊かな大人たちと出会う場、表現活動の場として本格的に事業を推進していきたいと考えています。

「Next101」プロジェクトで「次の一步」を踏み出す活動を応援・支援

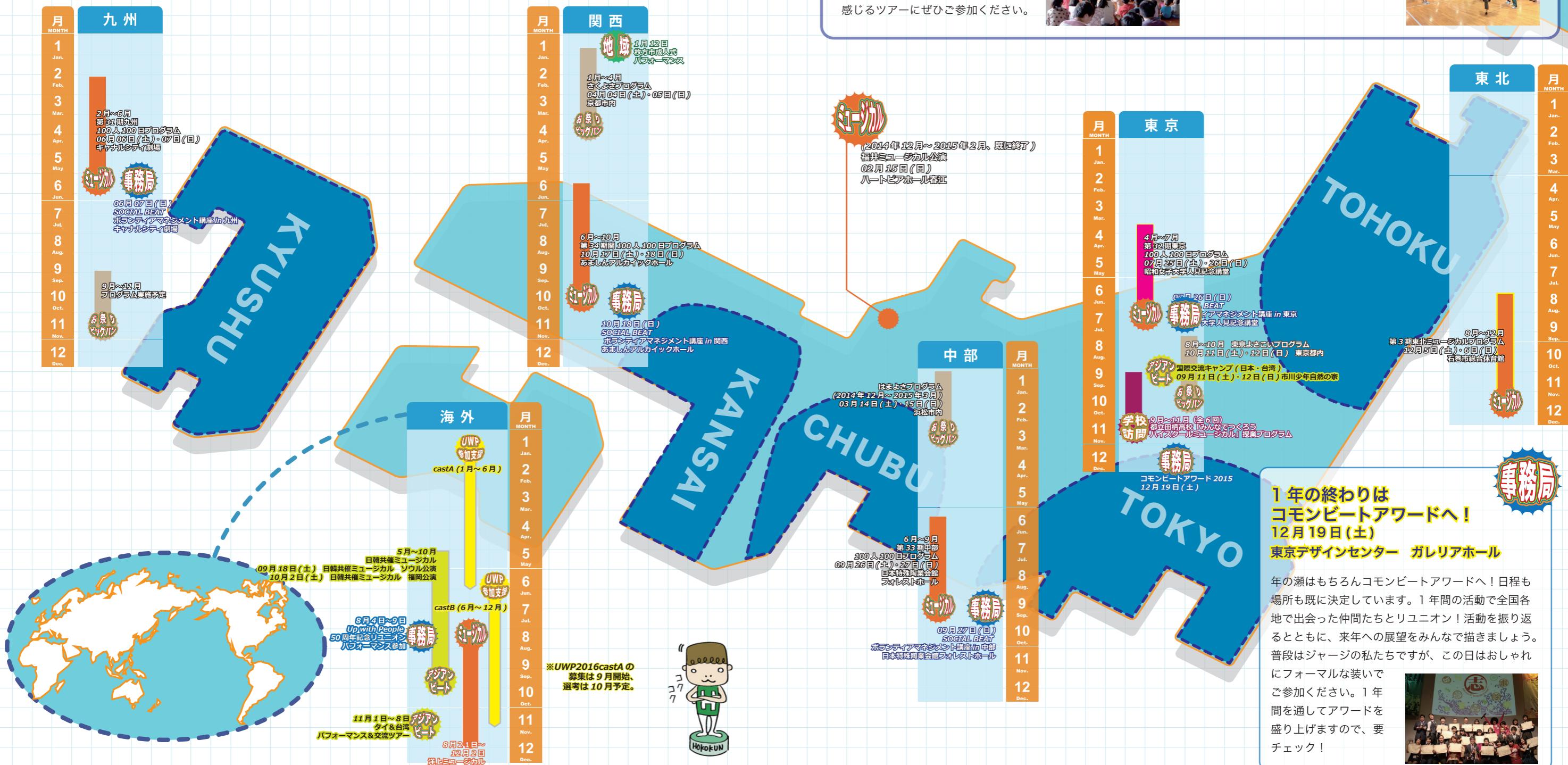
新規事業の立ち上げを計画中です。各プロジェクトによって輩出された個性豊かな人材が社会で活躍していく応援・支援をしていきます。今までには「去る者は追わず」的な考え方でしたが、これからはコモンビート卒業生がその後社会でどのように活躍していくのかを成果としてとらえていきたいと考えています。成果を生み出すためにコモンビートは起業・運営支援、コミュニティ運営、情報配信などを担います。他NPO団体ともパートナーシップを結び、団体それぞれの専門性を活かし合いながら社会を変える力を生み出します。

2015年を100倍楽しむ方法

~1年間で行われる多彩なイベント・プログラムに参加しよう~

既に各プロジェクトによるイベント・プログラムが目白押し。自分の地域でどのように活動に参加するか考えてみましょう！各地域のミュージカル公演の日程・会場も決定していますので、ブラックスピリット（舞台スタッフ）やウェルカムキャスト（会場運営スタッフ）、公演鑑賞など関わり方を決めてみましょう。今年は国外での活動もご注目！全部参加したらすごいお金になってしまいますね…。記載以外にも「地域スタッフ」がイベントやワークショップを企画、学校訪問活動も依頼があれば都度スクールキャストを募集していくきますので、常に情報をキャッチアップしてくださいね～！！

※掲載されている日程・場所に関しては変更となる場合があります。ご了承ください。



オススメのプログラム



タイ＆台湾パフォーマンス＆交流ツアー (11月1日～8日)

3年目のパフォーマンス＆交流ツアーはタイだけにとどまらず、台湾も訪問。コモンビートキャスト、日本人大学生、台湾人大学生、タイ人大学生で交流します。言葉や文化の違いを越えて繋がり合うために歌や踊りでコモンビートを奏でましょう。ツアーでは一般財団法人MRAハウスのご協力により、普段の観光では行くことのできないタイ王宮訪問、メイコックファームやバーンロムサイなどを訪れることができます（予定）。観光ではなくその地の人や歴史や文化を感じるツアーにぜひご参加ください。



都立田柄高校「みんなでつくろうハイスクールミュージカル」訪問授業プログラム

(9月9日、9月30日、10月14日、10月28日、11月11日、11月18日)
昨年に引き続いて「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」(東京都)としての実施。9月～12月に全7回（予定）の授業を行います。高校2年生の主体性と個性を引き出しながらミュージカルを制作し発表。授業には各回スクールキャストとして大学生や社会人を募集して、彼らと一緒に授業を作ります。全間に参加できるキャストを募集しますので、今から日程をチェック！



10 TOPICS

プロジェクト・事務局運営計画
in CB2015

活動を支える事務局が2015年に取り組む
具体的なトピックを10個ご紹介。
これを着実に進めれば、
ビジョン・ミッションの実現が近づいてくる！
会員のみなさんと一緒につくる活動です。
ぜひ応援してください!!

01 公演会場・規模の見直し！ ゼロからイチを生み出そう！

2016年公演会場はまだ予約が取れていない状況。施設のメンテナンス・優先団体の長期予約などが原因ですが「ゼロはチャンス！」と考え、改めて本番会場や規模をゼロから検討します。会場予約からプログラム運営をしたいメンバーを募るなど、ゼロからイチを生み出すプロセスを楽しみたいと考えています。

いっそ、東京ドームで公演!?は、さすがにないと思いますが、あらゆる角度から検討を重ねます。

02 作品・舞台のリニューアル

楽曲・ダンス振付・衣装・シーン構成をはじめ作品を2～3年間掛けて見直し、リニューアルを計画。また老朽化が進んでいた舞台装置・大道具などのリニューアル・最適化を目指します！

名付け…「リバース・プロジェクト（仮称）」を始動させます！

03 主役は各地域！ ダイナミックなプログラム運営を！

これまで通り、プログラム運営はミュージカル事務局もサポートをしますが、より各地域が主役となるよう、各地域のコアスタッフ・スタッフの意志を尊重していきます。

プログラムの内容・予算管理など、よりダイナミックにプログラム運営ができるように体制を整えていきます。

ミュージカル運営



11年の活動を見直す時期。
今までへのこだわりと、これから
のワクワクを大切に進んでいきます。

04 スタッフ研修の強化！ 大事なのは直接のコミュニケーション

各地域を主導とするものの、ビジョンである「個性が響きあう社会」を理解し、プログラムやスタッフ自身に活かしてもらうため、初回・中間・アフターとスタッフ研修を実施します。また研修を通して、スタッフと理事・事務局メンバーとの直接のコミュニケーションを大事にしています！



05 5地域でのプログラム運営で 日本を席巻！

2014年と同様に2015年もミュージカルプロジェクトを東北・東京・中部・関西・九州の5地域+洋上で行います。

コモンビートの魅力の1つである「地域を越えた繋がり」。
それぞれの地域が単体で動くではなく、各地域が連動し合うことで、全国が一体となって「個性が響きあう社会」を実現するためのプログラムを行っていきます。



Facebook 「いいね！」数が増加中！

コモンビート団体Facebookページの「いいね！」数が2,164となりました！各地域ページの「いいね！」数の合計（つまり累計）は7694になります。コモンビートに多くの方々が関心をもってくださっていますので、これからも継続的に発信をしていきます！

内訳：団体 2164、東京 1014、中部 1087、関西 1139、九州 1344、
東北 946 （2015年3月8日現在）

その他プロジェクト運営



お祭りビックバン、アジアンビートや
学校訪問活動の取り組みを強化。
新たな取り組みを進め、事業黒字化を
目指します。

06 地域と連携して お祭りプログラムを推進

ミュージカル公演を観て、コモンビートに参加したい！と思った方々への受け皿として、お祭りビックバンプロジェクトのプログラムをスタート。「踊ることを通して、自分らしく・たくましい個性を生み出します。ミュージカルプログラムと交互に実施するほか、地域スタッフとも連携し、地域を沸かせていきます。

オリジナル曲や衣装も新作を出していく予定です。

07 国外事業を進めていくために 必要なのは「語学力」！

国外事業を進めるにあたって必要となるのが「語学力」。タイ・韓国・アメリカと関わる国も今後増加していくはず。プロジェクト推進するスタッフには語学力がある方の採用を目指したいと考えています。

語学講座や異文化に触れる機会も創出しながら、団体としても語学力向上に努めています。



08 プログラム設計し、 実績・成果をしっかり定量化

小学校・中学校・高校生で実施する授業をしっかりプログラム化します。そして、生徒・学生、教師の声などをヒアリングして訪問授業を行う成果を定量化していきます。子どもたちへの表現活動の機会提供の為、企業との連携などを含めて収益化したいと考えています。



事務局運営



新しい仕組みを取り入れ、人を巻き込みながら、基盤運営を強化。
活動の見直しや変化にも耐えうる力を
生み出します。

09 「三茶通うDAY」を開催！ みんなで一緒に事務作業

毎月第三火曜日を「三茶（第三）通う（火曜）DAY」として、ボランティアに事務作業をやってくれる会員の方と事務局員で一緒になって事務作業をしていきます。データ入力・封入・事務所整理など地味な作業も、みんなでやれば面白い！

予定日：4/21、5/19、6/16、7/21、8/18、9/15、
10/20、11/17、12/15



10 会員が応援したくなる発信へ。 広報物の見直しに着手

メール・ブログ・会報誌などの広報手段がありますが、時代の流れと会員の皆様のニーズに合わせて見直しを行います。現在は報告が多く「過去」を伝えがちですが、今後はコモンビートが進んでいく「未来」について触れながら、皆様に情報をお届けします。



平成26年法人第11期決算報告(対平成26年計画)

第11期各プロジェクトにおいてイベント・プログラムを計画通りに実施しました。

収入はコモンビート初となる1億円を突破。約11,100万円売り上げ、事業費・管理費合わせて約1,0600万円を支出し、約450万円の黒字となりました。計画よりも売り上げが大きく上回り黒字化に至った理由は、ミュージカル「A COMMON BEAT」及び、10周年記念ミュージカル「Here, we...」の公演チケット販売収益の上ぶれがあげられます。また、東北ミュージカルクラウドファンディングの成功に加え、当初予定していなかった学校訪問授業で受託報酬を受けたことも挙げられます。

支出に関しては、事務局運営努力により(事)外注費、(事)保険料、(事)著作権料、(事)印刷経費、(管)旅費交通費、(管)会議費、(管)荷造運賃などを削減できました。また、売り上げ増に伴い課税対象額も上がり、法人税額・消費税額共に計画以上の納税となりました((管)租税公課)。その他対予算に対して増額している部分に関しては、使用用途を明確にしたうえで来期予算に反映し、改善していきます。

平成26年度 貸借対照表

科目		金額
資産の部	現金・預金計	28,198,132
	売上債権	500,000
	棚卸資産計	2,687,569
	その他流動資産計	3,936,506
	流動資産合計	35,322,207
	固定資産	固定資産合計
資産の部合計		36,542,209
負債の部	未払金	686,681
	前受金	3,916,840
	前受会費	5,000
	預り金	595,346
	借受金	20,000
	未払法人税等	950,300
	未払消費税	894,200
	流動負債計	7,068,367
	負債の部合計	7,068,367
正味財産の部	正味財産	29,473,842

平成26年度 損益計算書 収支決算(対H26予算計画)

(単位:円)

科目	H26収支予算	H26収支決算	差異
売上	会費収入	2,930,000	2,651,000 △ 279,000
	寄付金収入	1,665,000	3,187,133 1,522,133
	助成金収入	2,050,900	2,500,000 449,100
	事業収入	95,045,000	102,196,426 7,151,426
	雑収入	20,000	171,669 151,669
	売上計(1)	101,710,900	111,456,228 9,745,328
支出	給料手当	6,900,000	3,900,000 △ 3,000,000
	業務委託費	4,512,000	6,637,388 2,125,388
	外注費	11,551,500	11,402,619 △ 148,881
	旅費交通費	6,949,600	10,274,259 3,324,659
	運搬・車両関係費	2,210,000	2,621,568 411,568
	施設使用料	25,776,000	26,382,392 606,392
	賃借料	0	163,836 163,836
	荷造運賃	1,175,000	1,506,911 331,911
	消耗品費	6,656,260	4,826,000 △ 1,830,260
	印刷費	2,311,210	1,974,839 △ 336,371
	通信費	0	16,200 16,200
	修繕費	0	22,694 22,694
	支払手数料	126,000	673,151 547,151
	会議費	600,000	633,773 33,773
	UWP参加支援費	1,700,000	1,750,000 50,000
	商品制作費	3,459,900	4,888,071 1,428,171
	著作権料	1,072,400	942,747 △ 129,653
	保険料	420,000	389,818 △ 30,182
	雑費	325,000	722,544 397,544
	法定福利費	0	611,125 611,125
	地代家賃	460,000	0 △ 460,000
	倉庫使用料	0	134,491 134,491
	交付品	0	339,496 339,496
	前期損益修正損	0	536,467 536,467
	他勘定振替高	0	△ 1,110,486 △ 1,110,486
	事業費計(2)	76,204,870	80,239,903 4,035,033
	期首棚卸高	0	2,848,793 2,848,793
	期首商品・製品棚卸高計	0	2,848,793 2,848,793
	期末棚卸高	0	△ 2,687,569 △ 2,687,569
	期末商品・製品棚卸高計	0	△ 2,687,569 △ 2,687,569
支出	事業利益(1)-(2)	25,506,030	31,055,101 5,549,071
	役員報酬	6,420,000	7,620,000 1,200,000
	給料手当	5,700,000	3,000,000 △ 2,700,000
	法定福利費	2,316,000	1,476,104 △ 839,896
	外注費	1,296,000	661,860 △ 634,140
	業務委託費	0	3,108,200 3,108,200
	支払報酬	978,000	990,900 12,900
	印刷費	590,000	580,764 △ 9,236
	旅費交通費	2,010,240	1,491,628 △ 518,612
	運搬・車両関係費	0	9,048 9,048
	地代家賃	2,700,000	2,946,080 246,080
	会議費	210,000	69,590 △ 140,410
	水道光熱費	288,000	298,178 10,178
	通信費	228,000	246,701 18,701
	リース料	192,000	201,810 9,810
	消耗品費	550,000	185,956 △ 364,044
	接待交際費	45,000	0 △ 45,000
	荷造運賃	170,000	47,074 △ 122,926
	諸会費	70,000	70,000 0
	租税公課	1,275,000	2,381,260 1,106,260
	保険料	40,000	1,398 △ 38,602
	支払手数料	0	21,875 21,875
	雑費	425,000	1,068,012 643,012
	管理費計(3)	25,503,240	26,476,438 973,198
	経常収支(1)-(2)-(3)	2,790	4,578,663 4,575,873

平成27年法人第12期予算計画(対平成26年決算)

第12期は収入(売上)額約11,100万円と昨年計画とほぼ同規模の計画を予定しています。

収入はミュージカルプログラムを昨年に引き続き5地域で開催。有料販売での観客動員は約15000名を予定しています。また、初の試みとなる地域共催ミュージカルプログラムを福井で実施、そのプログラム使用料収入を算入しています。その他、「Up with People50周年記念リュニオン」及び、今年から立ち上がる「お祭りビックバンプロジェクト」のキャスト参加費収入、都立学校への訪問授業による収入、gooddoによる寄付金収入を計上しています。

支出に関しては、事務局運営人件費である、(事)業務委託費を削減し、必要最低限の人数での運営を予定。その分、ボランタリーにコアに関わるスタッフの(事)(管)交通費補助費用を増額。(事)外注費、(事)施設使用料、(事)商品制作費は昨年決算では10周年記念ミュージカル経費が計上されているため、今期は削減しています。(事)UWP参加支援費に関しては支援予算減額となります。

その他、総会資料のPDF化などによる(管)印刷経費削減などを実施。引き続き、税理士・社会保険労務士と顧問契約を継続((管)支払報酬)する他、ファンディング(資金調達)及び運営コンサルティングを目的として(株)シン・ファンディング・パートナーズと契約しています((管)外注費)。

平成27年度 損益計算書 収支予算(対H26決算)

(単位:円)

科目	H27収支決算	H27収支予算	差異
売上	会費収入	2,651,000	2,390,000 △ 261,000
	寄付金収入	3,187,133	156,000 △ 3,031,133
	助成金収入	2,500,000	2,500,000 0
	事業収入	102,196,426	96,080,500 △ 6,115,926
	雑収入	171,669	5,000 △ 166,669
	売上計(1)	111,456,228	101,131,500 △ 10,324,728
支出	給料手当	3,900,000	5,100,000 1,200,000
	業務委託費	6,637,388	3,331,000 △ 3,306,388
	外注費	11,402,619	8,550,000 △ 2,852,619
	旅費交通費	10,274,259	12,350,960 2,076,701
	運搬・車両関係費	2,621,568	2,170,000 △ 451,568
	施設使用料	26,382,392	23,130,000 △ 3,252,392
	賃借料	163,836	0 △ 163,836
	荷造運賃	1,506,911	1,075,000 △ 431,911
	消耗品費	4,826,000	11,617,800 6,791,800
	印刷費	1,974,839	1,514,000 △ 460,839
	通信費	16,200	0 △ 16,200
	修繕費	22,694	0 △ 22,694
	支払手数料	673,151	126,000 △ 547,151
	会議費	633,773	558,000 △ 75,773
	UWP参加支援費	1,750,000	1,000,000 △ 750,000
	商品制作費	4,888,071	2,980,000 △ 1,908,071
	著作権料	942,747	920,000 △ 22,747
	保険料	389,818	280,000 △ 109,818
	雑費	722,544	524,000 △ 198,544
	法定福利費	611,125	576,000 △ 35,125
	地代家賃	0	210,000 210,000

新役員プロフィール

任期満了に伴い、全ての理事・監事が改選となります。下記が候補者一覧です。
任期は2年間です。①より名 ②プロフィール ③コモンビートでの活動履歴



理事 再任

安達亮
(あだちりょう)

①りょう②1981年東京生まれ。NPO職員歴10年。非営利セクターに活動の軸を置き、「人の役に立つ」をモットーに人生を歩む。昨年より日本ブラインドサッカー協会理事就任。③理事長、事務局長



理事 再任

安藤悠一
(あんどうゆういち)

①あんどう②1981年東京生まれ岐阜在住。国際交流NGOスタッフとIT業界での経験を経て、コモンビート有給スタッフに③キャスト7回&プロデューサー・総合演出の経験を元に、現在は副理事長兼盛り上げ役。



理事 再任

中島 康滋
(なかしまこうじ)

①こうじ②1972年名古屋市生まれ。ITと教育に関するシリアルアントレプレナー。現在は子育て期間&充電中。③団体発起人・理事。



理事 再任

韓朱仙
(はんちゅそん)

①チュソン②1974年名古屋市生まれ、教師4年間のあと国際的なNPOで活動する。現在シュタイナー学園教師③団体発起人。ミュージカル演出&監修。国際交流プロジェクト「アジアアンビート」責任者。



理事 再任

高埜太之
(たかのもとゆき)

①もっちゃん②1981年北海道生まれ、高校卒業後、国際的なNPOで活動、コモンビート設立メンバー。ベトナム在住。③0~21期のミュージカルスタッフ。



理事 再任

白井雅博
(しらいまさひろ)

①MASA②1983年3月24日愛知県生まれ。キャンプ・ライブなど100人以上の規模のイベントを数多く企画・運営。嫁と2歳の娘と楽しく暮らしています。③⑧期初参加。ミュージカル副事務局長



理事 再任

奥村広哉
(おくむらこうや)

①こーや②1985年9月2日オーストラリアパース市生まれ。転職支援のキャリアアドバイザー③12期初キャスト、15期スタッフ、18期チーフディレクター、21期キャプテン、24期プロデューサー



理事 再任

田井淳美
(たいあつみ)

①あっちゃん②1986年3月6日大阪生まれ。公立高校の英語教員7年目。③16期初参加。さくよさ2011スタッフ、19期スタッフ。22期キャスト、19期スタッフ。26期演出チーム、30期演出。



理事 再任

室園悟志
(むろぞのさとし)

①ぞの②1985年福岡県生まれ。現在は公立中学校にて数学教員として勤務。③8期初参加。10、12期キャスト兼スタッフ、15期スタッフ、16期スタッフ、18期スタッフ、23、27期プロデューサー。福井共催ミュージカルの立ち上げスタッフ。



理事 再任

森吉庸
(もりよしのぶ)

①森ビル②1983年大阪生まれ。仕事はモチベーションをテーマにした組織人事のコンサルティング。東海地域に最高の組織を創るべく奮闘中。③16・19期キャスト。20期キャプテン、25期プロデューサー。福井共催ミュージカルの立ち上げスタッフ。



理事 新任

久保田晃成
(くぼたあきよし)

①パパワ②1982年北九州市生まれ。ラーメン屋に勤務。③6期初参加。様々なスタッフ経験を経てUWP参加。洋上ミュージカルや東北ミュージカルを開拓。④16・19期キャスト。20期キャプテン、25期プロデューサー。福井共催ミュージカルの立ち上げスタッフ。



理事 新任

太田郷子
(おおたきょうこ)

①ごーちゃん②1984年福岡生まれ。システム開発に7年半携わり、人と直接関わる仕事をしたいと思い退職。現在フリー。③23期キャスト、2013日韓クルーズスタッフ、27期スタッフ、31期キャプテン。長紘子(オサ)・小林春菜(haruna)・新井三保子(さんぽこ)は、任期満了につき退任となります。ありがとうございました!



監事 再任

鈴木秀夫
(すずきひでお)

①だいち②1969年4月24日山形県生まれ。いつまでも若くかっこよく熱いメッセージを伝えていきたいです。私生活では三人娘の父で、長女はこの春から大学生になります!③11・13・17・21・東北1期キャスト、中部・東京スタッフ、理事、監事



みなさまの応援よろしくお願いします！

コモンビートのビジョン・ミッションの実現に向けた活動をぜひみなさまに応援していただければと思っております。人が人を繋いで活動してきた団体だからこそ、これからも関わってくださる方々を大切に、一緒に活動していきたいと考えています。活動歴12年にもなりますと、関わる年代の幅も広くなってきており、活動に参加できるタイミングも異なってきます。より多様な関わり口を用意していきますので、ぜひ今後もずっとコモンビートを支えていただければ幸いです！



◎会員の継続をお願いします

コモンビートの一番の理解者が会員のみなさまです。ビジョン・ミッションに共感していただき、より良い社会づくりに向けて一緒に進みましょう。会員費収入が安定することはNPO法人運営にとっての肝といわれています。ぜひ今後とも継続をお願いいたします。

今年の取組ポイント

「ずっと会員として応援し続けるつもりだが、銀行振込入金が面倒だ」との声もいただいておりますので、口座引落・クレジットカードでもお支払いただけるよう現在事務局で検討をしております。

◎ご寄付をお願いします

活動資金を集めため、ご寄付をお願いしています。特に東北ミュージカルプログラム(復興支援)、学校訪問活動(子どもたちへの表現活動機会提供)、アジアアンビートプロジェクト(歌や踊りによる異文化交流)では資金を必要としています。継続的運営のため、応援いただけすると幸いです。

また、ご寄付をいただける際には、コモンビート事務局(info@commonbeat.org)までご一報くださいよう、お願いします。

振込口座

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名：三軒茶屋支店 口座：普通預金 口座番号：3571208

口座名義：特定非営利活動法人コモンビート ※口座名義は「トクヒコモンビート」と表示されます。

今年の取組ポイント

事業(活動)を指定できる形でのマンスリーサポーター制度(月額1,000円)の設置を検討中です。また、認定NPO法人の認定を目指し、皆様のご支援が寄付控除の対象となるように努力していきます。

◎gooddo(グッドゥ)でのワンクリック支援をお願いします

2014年2月より支援団体として登録をし、10か月間で約平均16,000/月のご支援金をいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。ご支援金は団体運営費として各所で使用させていただいております。今年も引き続き、「誰でも、今すぐ、簡単に」コモンビートへ「ワンクリック」をお願いいたします。

昨年支援金合計額(2014年2月～12月)：181,754円



議事録署名人

議事録署名人を以下に推薦します。

会員（事務局員）前嶋葵

会員（事務局員）花宮香織



COMMON BEAT[®]

特定非営利活動法人コモンビート

〒154-0004

東京都世田谷区太子堂1-12-35 アンビエンス世田谷201

TEL 03-6805-3844 / FAX 03-6805-3845

info@commonbeat.org

<http://www.commonbeat.org>